

やっぱり見に来てよかった

人影を見ることない
秋の終わりの浜辺で
ふきすぎる風の中を
両手をポケットに

季節が変わって 誰もいないところ
新しい貝殻 拾って胸にしまう

何もなかったこと こんなに綺麗だとは
自然の色だけ贅沢に広がる
やっぱり見に来てよかった

足跡のない浜辺に
足跡をつけてゆく
いったいなぜこんなにも
綺麗になるのだろう

一つだけ見つけた 誰かが作った
小さな砂の城 置き去りにされて

それにしても 風と波の力
全部入れ替えたような砂の色

何もなかったこと こんなに綺麗だとは
自然の色だけ贅沢に広がる
やっぱり見に来てよかった

豪華遊びしているわけではなく

豪華遊びしているわけではなく
わずかな小遣いを充てて
決められた時間を使って
今日もさながらのアーティスト

この趣味 仕事にしてたなら
こんなに楽しくできたのかな
地味に働けてきたおかげで
できることに感謝している

周りも気にせず
ほとんど知られないで
自由に気ままに
ノルマがあるわけでない

ミスが許されないものに比べると
おおらかな気持ちで大胆に
納得できることだけポリシーに
あとはほとんど成り行き任せ

この趣味 仕事にしてたなら
こんなにたくさんできたのかな
地道に続けてきたおかげで
成果が増え満足している

先のこと気にせずほとんど風まかせ
自由に気ままに
期限があるわけでない

ひだまりの中

ひだまりの中に
長い影が伸びて
小春日和の道
帰り花を見つけた

咲くはずのない季節に
わずか三輪ばかり
儂いほどの美しい姿に出逢って

ひだまりといえども
時折ふく冷たい風
それを忘れさせるような
暖かなきもちに

咲くはずのない季節に
ほころぶつぼみ見上げる
こんな僕にも春がいつか来るよと

かくあるべし

「どうしてあいつはいつも
これができないのかな」
耳にする今日も口々に
「かくあるべし」
自分たちの考えに
そぐわない人を避けて
弱みを見つけて
優位に立ちたい気持ちなのか

仕事だけでなく教育でも
自分たちの理想 押し付けている
仕立て上げるように一つの姿に
変えてゆくことが本当にいいのかな

いくつになってもいつでもどこでも
言われつづけている今日も
「かくあるべし」
それを受けるだけの自分の性格
損してる気もするけど
その変わりストレスもない

「自分のノルマだけで
偉くはなれない」などと
それとなく今日も言われてる
「かくあるべし」
他人の面倒見ることは難しいもの
確かに大切なわかるけど
思うようにいかない

仕事だけでなく生活でも
いろんな気を遣って抑えている
あるがま一まに思うままに
やってゆくことは本当に難しい

いくつになってもいつでもどこでも
言われつづけている今日も
「かくあるべし」
ただ言う方の疲れを思うと
言われてる方が
気楽でいられる気もする

素直にいえなくて

ただ素直に「ありがとう」とだけ
いうことでよかったはずなのに
なぜか
ただ照れくさかっただけでいえない

何気なくみえる親切に
お礼言うほどのことでないと
なぜか勝手に決めつけて
間違っていたことに気付く

お礼はなくていい
というのを決めるのは相手
こちらが勝手に
決めるのはいけないこと

ただ素直に「ごめんなさい」とだけ
いうことでよかったはずなのに
なぜか
ただ照れくさかっただけでいえない

ふとかけてしまう迷惑に
お詫び言うほどのことでないと
なぜか勝手に決めつけて
間違っていたことに気付く

お詫びはなくていい
というのを決めるのは相手
こちらが勝手に
決めるのはいけないこと

私のたからもの

私の大切な小さなたからもの
ロールケース入りの50色の鉛筆

同じ赤でもいろんな赤がある
明るく楽しい赤 暗くて怖い赤

いつも旅先でバックにしまったた
その時の天気で見える景色も違う

同じ緑でもいろんな緑がある
一つのものでなく
たくさんあるのがいい

空を見上げて海を見渡して
物思いにふけることも幸せ

同じ青でもいろんな青がある
すみわたる青と 深く重たい青

たくさんある中で一つしかない色
だけどこのたからで使っていない色

いろんな色のせる画用紙と同じで
清らかな白色 かけがえのないもの

大切なもの